

ふれあいの園入浴担当メモ（昼間）

各色：■緑＝共通 ■黄＝午前 ■桃＝午後 ■青＝夜 ■黒＝看護師の手順

共通の手順

利用者を浴室に誘導したら、籐の椅子にバスタオルと座面にタオルをセットする。タオル一枚を浴室に用意しておく（切ったペットボトルの上など）。

湯船のお湯を足にかけ温度を確認してもらう。

シャワーの湯を掛け、温度を確認してもらう。

シャンプーの後にタオルを渡し、顔を拭いてもらう。

湯船に浸かったら湯加減を確認する。

湯船から出たら「かけ湯」をしてから脱衣所上がる。

水分補給、ヘアドライヤーを終えたら、床を拭き、洗濯物をまとめて除けるか洗濯機で回すなどして次の利用者を誘導する。

金 曜

●117 大和 千代

「お風呂に行きましょう」などと、『お風呂』はNGワード。それを聞くとお風呂に入らなくなってしまふ。

「2階に行きましょう」「健康診断に」などと適当なことを言いながら浴室に連れてくる。

バッグを預かり、脱衣を介助し、手を引いて【シャワーチェア（ピンク）】に座らせ、シャンプー、背中を洗う。

様子を見ていて洗い足りない場所があれば「〇〇は洗いました？」と声を掛ける。洗えないようならヘルパーが代わりに洗う。洗える場合はちゃんと足の指の間も洗う。様子を見ていれば良い。

湯船に促し、「かけ湯」をして脱衣所の籐の椅子に促す。

バスタオルを背中から掛けて体を拭かせ、ヘルパーは足を拭く。

頭の濡れ具合を確認し必要ならタオルで再度水分を拭き取る。

着衣を促し介助する。一枚ずつ手渡ししていく。

水分補給をし、ドライヤーを当てる。

●221 小林 珠子

「お風呂に行きましょう」と声を掛けると眠っていた場合などは拒否がある場合もあるが、午後改めて声を掛けると入るという場合もある。寝起きは入りたくないらしい。

記録を確認し入浴拒否が前日もあった場合は注意する（ナースに相談する）

バッグを預かり、脱衣を介助し、手を引いて【シャワーチェア（ピンク）】に座らせ、シャンプー、背中を洗う。

様子を見ていて洗い足りない場所があれば「〇〇は洗いました？」と声を掛ける。洗えないようならヘルパーが代わりに洗う。洗える場合はちゃんと足の指の間も洗う。様子を見ていれば良い。

湯船に促し、湯上がり後は「かけ湯」をして脱衣所の籐の椅子に促す。

バスタオルを背中から掛けて体を拭かせ、ヘルパーは足を拭く。頭の濡れ具合を確認し必要ならタオルで再度水分を拭き取る。

着衣を促し介助する。一枚ずつ手渡ししていく。

水分補給をし、ドライヤーを当てる。

●202 斉藤 こと

ふらつくことがあるので、車椅子の状態では上半身を脱がせ下半身は【シャワー車椅子】に座って浴室で脱がせても良い。脱衣所の壁のバーに掴まって立つと失禁する場合がある。

シャンプー、背中を洗う。

お湯はやや温めにするが本人が熱がるままに設定を下げると湯冷めしてしまうので程々まで従う。

実際には先入観と思い込みと思われる。

本人にグローブを渡してもあまり洗えないので、その場合はヘルパーが続きを洗う。

浴槽に【シャワー車椅子】を寄せてヘリに腰掛けさせて一度深く座らせて、右足、左足と順に浴槽に入れる。

「右足を上げて」「左足を上げて」と指示を細かく出すことであまり考えることなく動かせる。

考える時間を与えると「なんであなたにどうたらこうたら」と抵抗し出す。

ただ、湯に浸かって「湯加減はどうですか？」と聞くと、散々「熱い」と騒いでいたのに「ちょっと温い（ぬるい）ですねぇ」と言ったりする。

入るときと逆の手順で湯船から出し、手を引いて【籐の椅子】に座らせる。

体を拭くことを促しても吹くことはないので確認後にヘルパーが体を拭いて、着衣を促し介助する。その後【車椅子】に移乗し終了。

●211 太田富美枝

2016夏現在・特にふらつくこともなく、本人が脱着衣を行う。ヘアピンを預かることがある。

シャンプーと背中洗いを介助し、湯船へ。

湯上がり後は着替えを手渡ししながら行う。

預かった場合はヘアピンを返却することを忘れずに言う。

●213 砂田 恭子 月・金

2016夏現在・特にふらつくこともなく、本人が脱着衣する。

シャンプーと背中洗いを介助し、着替えを手渡ししながら行う。

日 曜

●108 山口 芳子

本人が脱着衣する。

オムツを確認後、浴室へ誘導。

【シャワーチェア（ピンク）】に座らせ、シャンプー、背中を洗う。様子を見ていて洗い足りない場所があれば「〇〇は洗いました？」と声を掛ける。洗えないようならヘルパーが代わりに洗う。洗える場合はちゃんと本人が足の指の間も洗う。様子を見ていれば良い。

湯船に促し、湯上がり後は「かけ湯」をして脱衣所の籐の椅子に促す。

バスタオルを背中から掛けて体を拭かせ、ヘルパーは足を拭く。頭の濡れ具合を確認し必要ならタオルで再度水分を拭き取る。

湯上がり後に籐の椅子に座らせて、着衣。衣服を手渡し介助する。本人に確認して着替えを用意しても、当日本人が嫌がる場合があるのでそのつもりで対処する。

●226 醍醐 茂男

脱衣を介助し、手を引いて【シャワーチェア（ピンク）】に座らせ、シャンプー、背中を洗う。

様子を見ていて洗い足りない場所があれば「〇〇は洗いました？」と声を掛ける。洗えないようならヘルパーが代わりに洗う。洗える場合はちゃんと足の指の間も洗う。様子を見ていれば良い。湯船に促し、「かけ湯」をして脱衣所の藤の椅子に促す。バスタオルを背中から掛けて体を拭かせ、ヘルパーは足を拭く。頭の濡れ具合を確認し必要ならタオルで再度水分を拭き取る。着衣を促し介助する。一枚ずつ手渡していく。水分補給をし、ドライヤーを当てる。

●210 益川 佳子

車椅子で浴室へ誘導する。足の包帯をほどいて洗濯へ。名前が記入されているか確認しておく。

上半身を脱衣させ、下半身はヘルパーの肩を掴まらせて立たせて脱がせるか、脱衣所の壁のバーを握らせて立たせてから脱がせる。その後（あと）【シャワー車椅子（赤）】に取り替えて座らせる。

浴室に移動し、シャンプー、背中を洗う。

様子を見ていて洗い足りない場所があれば「〇〇は洗いました？」と声を掛ける。洗えないようならヘルパーが代わりに洗う。洗える場合はちゃんと足の指の間も洗う。様子を見ていれば良い。湯船に促し、「かけ湯」をして脱衣所の藤の椅子に促す。バスタオルを背中から掛けて体を拭かせ、ヘルパーは足を拭く。頭の濡れ具合を確認し必要ならタオルで再度水分を拭き取る。着衣を促し介助する。一枚ずつ手渡していく。水分補給をし、ドライヤーを当てる。

入浴が済むと包帯を巻くのでナースに連絡をする。

●212 元吉 栄子

車椅子で浴室へ誘導する。デジタル置き時計などを大事に持参するので部屋に訪問時に忘れた場合は「持ちましたか？」と声を掛けておく。

上半身を脱衣させ、下半身は脱衣所の壁のバーを握らせて立たせてから脱がせる。その後（あと）【シャワー車椅子（赤）】に取り替えて座らせる。

浴室に移動し、シャンプー、背中を洗う。

様子を見ていて洗い足りない場所があれば「〇〇は洗いました？」と声を掛ける。洗えないようならヘルパーが代わりに洗う。洗える場合はちゃんと本人が足の指の間も洗う。様子を見ていれば良い。

湯船に促し、「かけ湯」をして脱衣所の藤の椅子に促す。

バスタオルを背中から掛けて体を拭かせ、ヘルパーは足を拭く。頭の濡れ具合を確認し必要ならタオルで再度水分を拭き取る。着衣を促し介助する。一枚ずつ手渡していく。水分補給をし、ドライヤーを当てる。

●208 今西 重子

車椅子で浴室へ誘導する。自室からブラシと塗り薬を持参する。忘れていたようなら声を掛ける。

上半身を脱衣させ、下半身は脱衣所の壁のバーを握らせて立たせてから脱がせる。その後（あと）【シャワー車椅子（赤）】に取り替えて座らせる。

浴室に移動し、シャンプー、背中を洗う。

様子を見ていて洗い足りない場所があれば「〇〇は洗いました？」と声を掛ける。洗えないようならヘルパーが代わりに洗う。洗える場合はちゃんと本人が足の指の間も洗う。様子を見ていれば良い。

湯船に促し、「かけ湯」をして脱衣所の藤の椅子に促す。バスタオルを背中から掛けて体を拭かせ、ヘルパーは足を拭く。頭の濡れ具合を確認し必要ならタオルで再度水分を拭き取る。着衣を促し介助する。一枚ずつ手渡していく。背中に薬を塗布する。水分補給をし、ドライヤーを当てる。

●222 平田 節子 女性ヘルパー対応。

●306 溝淵 松江

車椅子・シルバーカーで浴室へ誘導する。

ナースに連絡し、処置の有無を確認する。

本人が全身の脱衣を行える。ふらつかないか見守る。怪我の様子なども確認しておく。

浴室に移動し、シャンプー、背中を洗う。

様子を見ていて洗い足りない場所があれば「〇〇は洗いました？」と声を掛ける。膝から下を洗えないケースがあるので対応する。

湯船に促し、入らせるのだが便が漏れる場合があるので【入浴ファイル】の左頁にあるとおり、入浴順は最後に行く。

「かけ湯」をして脱衣所の藤の椅子に促す。

バスタオルを背中から掛けて体を拭かせ、ヘルパーは足を拭く。頭の濡れ具合を確認し必要ならタオルで再度水分を拭き取る。もちろん、怪我の部分は擦ってはいけません。着衣を促し介助する。一枚ずつ手渡していく。水分補給をし、ドライヤーを当てる。ナースに風呂上がりを連絡し処置を依頼する。

●320 柴田 秀夫

本人が今までは着替えを用意していたが、最近は身一つで浴室に行こうとするので、「着替えを用意してください」と声を掛ける必要もある。また、タオル、下着など、不足する場合もあるので準備の様子を見て不足している様子なら「〇〇はいれましましたか？」と声を掛ける必要もある。

貴重品を皿に預かる。

脱衣を見守りふらつかないか見ておく。

浴室に移動し、シャンプー、背中を洗う。その後はグローブを手渡し本人に促す。

湯船に促し、適当な時間を経たら「かけ湯」をして脱衣所の藤の椅子に促す。

バスタオルを背中から掛けて体を拭かせ、ヘルパーは足を拭く。

着衣を促し介助する。一枚ずつ手渡していく。

水分補給をし、貴重品を本人に返す。廊下に出てドライヤーを当てる。